

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果

4月18日に実施した調査の本校の結果をお知らせします。

本調査の目的は、

- ①「個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てることと」
- ②「教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること」

であり、調査結果を踏まえて、本校の教育活動の充実を図っていきたいと考えております。

対象は6年生ですが、他の学年の保護者の皆様にも本調査の結果をご覧いただき、ご家庭での指導に役立てていただければ幸いです。

<問題別調査結果>

国 語		算 数	
全体	全国を下回る	全体	全国を下回る
言葉の特徴や使い方	全国を下回る	数と計算	全国を下回る
我が国の言語文化	全国を下回る	変化と関係	全国を下回る
話すこと・聞くこと	全国を上回る	データの活用	全国を下回る
書くこと	全国を下回る		
読むこと	全国を下回る		

全体的に平均正答率は全国と道を下回っていますが、国語の「話すこと・聞くこと」の領域で本校の子どもたちの得意な学習内容があることが分かります。

【全国の平均正答率に比べて正答率の高い問題】

国語	3一 (1)	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと の中心を捉えることができるかどうかをみる
算数	2 (1)	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる

【全国の平均正答率に比べて正答率の低い問題】

国語	3三	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる
算数	4 (2)	「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるか どうかをみる

※問題は、次の青い部分「[令和5年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について：国立教育政策研究所 National Institute for Educational Policy Research \(nier.go.jp\)](#)」で確認
できます。時間のあるとき、子どもたちがどのような問題に取り組んだか、一度ご覧ください。

【改善に向けた取り組みについて】

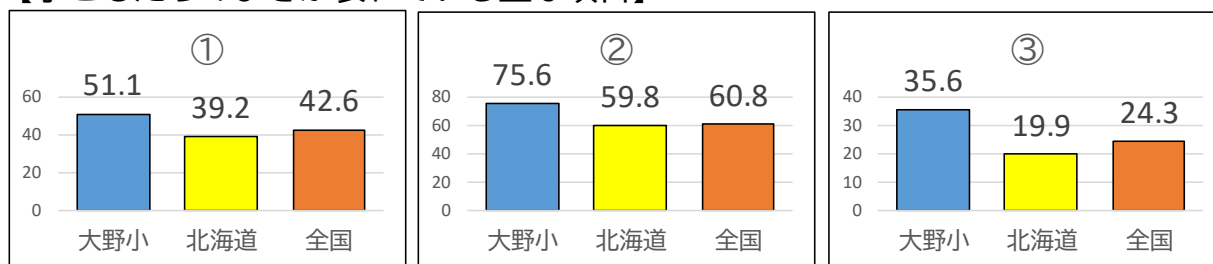
本調査結果を受けて、日常の授業改善が重要であることを学校全体で共通理解を図っています。特に、今年度の重点教育目標である「何事にも意欲的に取り組み 自分の考えや思いを伝え合う子の育成」を踏まえ、子どもたちの学習活動を活性化することを目指しています。変化の激しい未来で子どもたちが力強く生き抜けるよう、子どもたちが主体的に課題を解決する授業づくりを進めています。

キーワードは、「教師主導の時間を2割減」です。その分、子どもたちの考えたり話したり学び合ったりする時間を充足させたいと考えています。

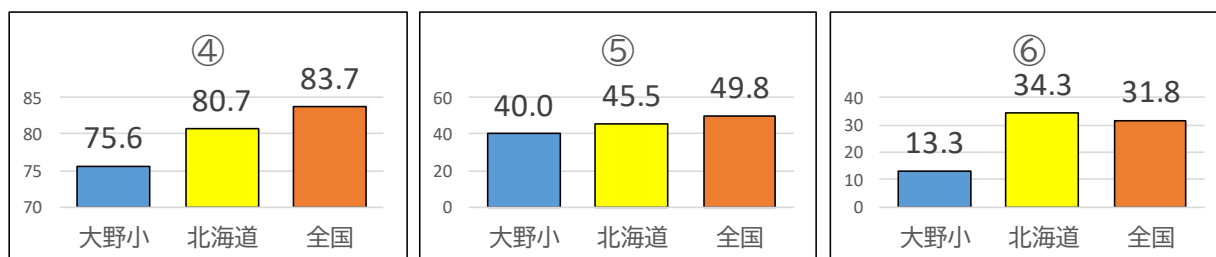
12月の学習参観では、子どもたちが授業の中で生き生きと学ぶ姿をお見せできればと考えています。

<児童質問紙回答結果>

【子どもたちのよさが表れている主な項目】



【本校の課題と考えられる主な項目】



<質問内容>

【よさ】

- ①自分には、よいところがあると思う
- ②将来の夢や目標を持っている
- ③今住んでいる地域の行事に参加している

【課題】

- ④朝食を毎日食べている
- ⑤学校に行くのは楽しいと思う
- ⑥総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる

【結果を踏まえた今後の教育活動の在り方について】

自分によいところがあると考えている子どもたちが全国に比べて多いことは、本校の強みです。将来の夢や目標は、毎日を元気に楽しく過ごすための活力となるので、より一層知見を広げられるようキャリア教育の充実などを図っていきたいと考えています。また、地域の行事への参加などによる地域への愛着心をさらに高めつつ、大野地区の伝統芸能「大野ぎおんばやし」を継承しながら地域と共にある大野小学校を目指します。

一方、朝食を毎日食べる子どもは全国や北海道に比べて低いので、1時間目から学習へ意欲的に取り組めるよう、家庭でのご配慮をお願いします。また、学校は子どもたちの日常生活の多くを過ごす場所であるので、子どもたちにとって学校に行くことが楽しく思えるよう、学校全体の課題として考え、通いがいのある学校づくりを進めます。さらに、総合的な学習の時間は、他の教科などで学んだことを統合的に活用する学習なので、子どもたちの個性が発揮され、自らの可能性を広げることにつながられるよう、学習内容の精選を図っていきます。

子どもたちの学力向上と健やかな成長のために、この調査結果を活用し、教育活動の更なる充実を図っていきます。今後も、学校で取り組んでいる改善策へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。